

Catalyst 6500/6000 LANEモジュールのパスワード回復

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 6500/6000 LAN エミュレーション (LANE) モジュールのパスワード回復方法について説明します。このドキュメントでは、次のモジュールについて説明します。

- Catalyst 6500 OC-12 ATM LANE(シングルモードファイバ(SMF))モジュール(製品番号 : WS-X6101-OC12-SMF)
- Catalyst 6500 OC-12 ATM LANE(マルチモードファイバ(MMF))モジュール(製品番号 : WS-X6101-OC12-MMF)

前提条件

要件

この手順を実行するには、(従来の完全に交差したケーブルではなく)ストレートケーブルが必要です。

注意 : Catalyst 6500/6000 LANEモジュールのパスワード回復手順は、最新のソフトウェアリビジョン(このドキュメントの最初の発行時点では、Cisco IOS®ソフトウェアリリース12.1(4)E2です)で中断されます。バグ情報の詳細は、Cisco Bug ID [CSCdt05579](#) (登録[ユーザ](#)専用)を参照してください。

表記法

ドキュメントの表記法の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

手順

このドキュメントでは、Catalyst OS(CatOS)ソフトウェアバージョン6.1が稼働するCatalyst 6500/6000スーパーバイザエンジンと、Cisco IOSソフトウェアリリース12.0(5)XS1が稼働するCisco ATM LANEモジュールでのパスワード回復手順について説明します。

1. ATM LANEモジュールのコンソールポートに、端末またはターミナルエミュレーションを備えたPCを接続します。次のターミナル設定を使用してください。

```
9600 baud rate
No parity
8 data bits
1 stop bit
No flow control
```

2. **show version**コマンドを発行し、コンフィギュレーションレジスタの設定を記録します。ドキュメント『[Cisco 1600シリーズルータのパスワード回復手順](#)』の「パスワード回復手順の例」[セクション](#)では、**show version**コマンドの出力を示しています。コンフィギュレーションレジスタの設定は、通常0x2101または0x101です。
3. Catalyst 6500/6000のスーパーバイザエンジンに移動し、**reset modnr**コマンドを発行します。
4. 電源投入から10秒以内にターミナルキーボードのBreakキーを押して、モジュールをROMモニタ(ROMmon)に入れます。ブレークシーケンスが正しく動作しない場合、他のキーの組み合わせについて、『[パスワード回復時の標準的なブレークキーシーケンスの組み合わせ](#)』を参照してください。
5. rommon 1>プロンプトで**confreg 0x2142**コマンドを発行し、フラッシュからブートします。
6. rommon 2> プロンプトに対して **reset** を実行します。モジュールはリブートしますが、保存された設定は無視されます。
7. 次の質問が画面に表示されたら、太字で表示されている回答を入力します。Would you like to enter the initial configuration dialog?**あり**基本的な管理設定に入りますか？**no**現在のインターフェイス設定を表示しますか？**no**ホスト名を入力：**ホスト名**enable secretを入力します。**新しいパスワード**パスワードを入力します。**password**仮想端末パスワードを入力：**password**注：ここでは、暗号化される新しいパスワードを入力します。SNMPネットワーク管理を設定しますか？**no**注：イネーブルシークレットパスワードを指定しない場合は、暗号化を行わないように入力します。設定を保存するメニューが表示されるまで**no**と入力します。ここで設定を保存することを選択できます。**2**と入力して、設定を保存します。
8. ATM>プロンプトで**enable**コマンドします。
9. 新しいパスワードを入力します。イネーブルモードで、ATM#プロンプトが表示されます。
10. **copy start running**コマンドを発行して、NVRAMをメモリにコピーします。**configure terminal** コマンドは実行しないでください。
11. **write terminal**コマンドまたは**show running**コマンドを発行します。
12. **configure terminal** コマンドを実行して、必要な変更を行います。現在のプロンプトは **hostname(config)#** です。
13. **config-register 0x2102**コマンド、またはステップ2で記録した値を発行します。
14. コンフィギュレーション モードを終了するには、**Ctrl z** を押します。現在のプロンプトは **hostname#** です。
15. **write**コマンドを発行して、変更を確定します。
16. **reload**コマンドを発行して、新しいコンフィギュレーションレジスタで再起動します。

[関連情報](#)

- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)